

植物多様性センターの「タヌキモ類の捕虫囊」

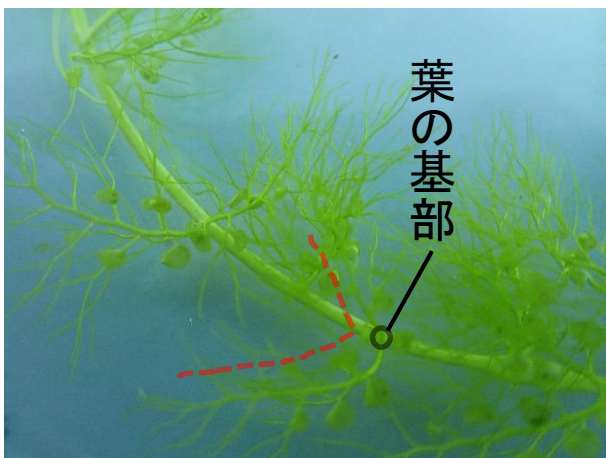
タヌキモの仲間は根が無く、水面を浮遊する食虫植物です。袋状の捕虫器は捕虫囊(ほちゅうのう)と呼ばれ、へこんだ状態から素早く膨らんでミジンコなどの小さな生き物を吸い込みます。植物多様性センターの屋外水槽には、在来種のイヌタヌキモのほかに、園芸植物として日本に持ち込まれたオオバナイトタヌキモがあります。イヌタヌキモの花期は6～9月、オオバナイトタヌキモの花期は5～11月です。



イヌタヌキモの捕虫囊: 捕虫囊は葉の裂片が変化したもの。



オオバナイトタヌキモの花: 逸出したものが各地で野生化している。



イヌタヌキモははっきりとした茎を持ち、葉は基部で二股に分かれる。



オオバナイトタヌキモの茎と葉は糸状でフェルトのように絡まる。